

「今月の主な紙面」

- 2 介護職員研修交流会、名南会・尾張健友会のスタンディング
- 3 人権としての社会保障セミナー、PFAS問題と愛知民医連への期待
- 4 研修医日記、相談室、パズル



愛知県民主医療機関連合会
〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9番3号
☎ 052-883-6997 FAX 052-889-2112
発行責任者 武田 修三
URL : https://www.aichiminiren.jp/
E-mail : aichiminiren@aichiminiren.jp
第473号

医療・介護・福祉に予算拡充を

10・19いのちまもる総行動 (東京・日比谷野外音楽堂)



日比谷野外音楽堂・壇上にて愛知参加者全員で

10月19日、「10・19いのちまもる総行動」が東京・日比谷野外音楽堂で行われました。この集会は、民医連などの医療・介護・福祉分野の団体と労働組合でつくる実行委員会が主催し、実参加とオンライン参加者を合わせて3100人が参加しました。集会後は、医療・介護・社会保障の拡充を訴えて銀座をパレードしました。

愛知民医連からは尾張健友会から職員5名・友の会3名、名南会からは職員3名、北医療生協は組合員1名のみなさんが参加しました。

集会では、日本医労連・佐々木委員長が主催者あいさつを行い、「医療・介護・社会保障を拡充し、いのちと人権を守る政治へ転換させよう」と訴えました。社会風刺コント集団「ザ・ニュースペーパー」によるコントがありみんなで笑ったあとは、立憲民主党と日本共産党の国會議員から連帯のあいさつ、日本医師会、日本歯科医師会のメッセージ紹介があり、続いて各団体によるリレートーク

集会後は銀座をパレードが行われました。全日本民医連からは千葉勤労者福祉会の門脇さんがトークに立ち、愛知民医連をはじめ全国の民医連の仲間も応援登壇しました。門脇さんは、介護現場の現状を報告し、「国民の健康と暮らしを守るには政治の責任です」と訴えました。

集会後は銀座をパレード、「賃金の大幅引き上げ」、「健康保険証をなくすな」、「戦争する国づくり反対」などのコールを元氣よくお

医療・介護・福祉現場の方々が厳しい現状と公衆衛生体制の充実、待遇の改善、大幅増員を訴えて見えました。総行動に参加させてもらい、今こそ立ち上がり声を上げていく必要性を感じました。

福山 省吾



尾張健友会のノボりを掲げて銀座デモ

【尾張健友会】安心して暮らせる社会の実現には、医療・介護分野に加え、保育など福祉分野にも関心を持つことも大事。政府や自治体などへ働き掛けていく必要性を改めて感じました。

(本部 中尾 忍)

いのちまもる総行動に参加できました。全国からの参加者がたくさん集まり、主催者、来賓のあいさつ、保育現場・介護現場・看護

ちあき 丹羽俊貴



2300人の参加で日比谷野外会場は一杯



愛知の参加者たち

人1人が発する声は小さくても、皆が集まることで大きな力になることを感じた地域の「命」と「暮らし」を守るために、小さくても声を上げて周囲に賛同を求めていきたい。

近藤輝吉

現場・医師・歯科医師からのリレートークがありました。保育や医療関係の働く実態をもっと多くのの人に知ってもらいたいと思いました。集会後は銀座通りをシブプレヒコールしながら東京駅の近くまでパレードしました。若い職員には良い経験だったと思います。

(尾張健康友の会 千秋支部 上平安秋)

【名南会】参加をしてみても、医療の現場を実際に支えている、全ての職員に対して十分な社会保障が行き渡っていないという現状が分かりました。政治に対しても活かしていきたいなと思います。

(名南ふれあい病院 健康推進室 西村元斗)

等(現在は減免制度がない)の実現に向けて、国會議員・名古屋市議會議員との懇談をこの間行っています。

☆10月からの「秋の共同組織強化月間」に合わせ、コロナ禍で中止していた日曜健診・友の会行楽(バス旅行)・認知症カフェなどを数年ぶりに再開します。

☆10月23日に元小山交差点でスタンディングを行い13名が参加。保険証なくさないで等をアピール。

☆10月29日に千秋病院の各施設等敷地内で家族健康まつりを開催し1700人が参加。家族参加も多く、300人分程用意したスタンプリーの景品がなくなる程でした。

☆10月9日コップあいち生協文化会館4階にてまつりを開催。10月13日そよら上飯田にて健康講座「良い睡眠とれてますか」を開催。講座を聴いて受診に繋がった方もいました。

☆10月18日あじまブロックと楠図書館との共催で「いざという時！介護保険を利用するために」を開催。

☆名南病院無料低額診療事業にかかる固定資産税減免

☆下半期、たくさんさんの署名が提起される中、「月替わり署名」として月替わりで集中して署名にとりくんでいます。10月は「保険証なくさないで」署名388筆集め、11月は「国保・介護改善署名」にとりくみます。

☆11月4日、新日本婦人の会第31回全国大会で、愛知を代表してはみんぐから活動報告を行いました。

【南】☆9月24日、知立市牛田駅前「おたがいさまの家いこまい」がオープン。そこに行けば誰かがいる、困ったときに困ったといえる、支えあい助けあいの繋がりがづくりの拠点を目指します。

☆10月7〜8日に仲間ふやし地域一斉訪問が組合員263人、職員165人で行われ、各地域の976人と対話ができました。

北

☆10月9日コップあいち生協文化会館4階にてまつりを開催。10月13日そよら上飯田にて健康講座「良い睡眠とれてますか」を開催。講座を聴いて受診に繋がった方もいました。

☆10月18日あじまブロックと楠図書館との共催で「いざという時！介護保険を利用するために」を開催。

☆医療法人で組織強化月間が繰り広げられています。わかば薬局では班会コンテンツで全面協力しています。

☆10月18・19・20日の3連続も含めて4回、11月の班会1回をふくめて各地の健康まつりでわかば薬局の存在をアピールします。

はみんぐ

☆10月23日に元小山交差点でスタンディングを行い13名が参加。保険証なくさないで等をアピール。

☆10月29日に千秋病院の各施設等敷地内で家族健康まつりを開催し1700人が参加。家族参加も多く、300人分程用意したスタンプリーの景品がなくなる程でした。

ファルマネット



県連介護職員研修交流会を開催

介護職員の育成と 中堅職員の役割学ぶ

10月21日、県連介護福祉委員会・介護職部会の共催で、「介護職員研修交流会」が金山・労働会館本館で開催され、25人が参加しました。

研修交流会のテーマは、「介護職員の育成 ～中堅職員の担うべき役割について～」として、大阪民医連介護福祉委員長の星野さんの講演と法人報告（名南・尾張）があり、グループワークで学びを深めました。

尾張健友福祉会の永井福子さんに感想を聞きました。

介護職員研修交流会に参加して

医療福祉生協おおさかの星野さんの講演を聞き、介護職員が現状不足している中で将来的に70万人近く介護職員が不足するという推計が出ており、介護福祉士を養成できる学校が減少し中学校の先生も介護の学校をあまり進めていないという現状を知りました。



熱心に講演を学ぶ参加者

「定着していく」と話がありました。介護職員が定着するためにも、新人だけに関わらず現職員とのかかわりの中にも活かしていけたらと思えました。

尾張健友福祉会
萩原小規模多機能ホームちあき
介護福祉士
永井 福子

その中で、外国の職員では言葉の壁があったり文化の違い、無資格職員では異業種から中途で入られる方などが居られ、定期的に面談などを行いながら業務や

介護技術などを教えているものなかなかな定着しないなど各施設色々な悩みがある事が分かりました。星野さんから「新人職員に教える時はあいまいな説明をして後から何でできなかったのか注意するのは良くない。きちんと説明をし、できたときは褒め、できなかったときはなぜできなかったのかを新人職員と話をしていく事が必要。日ごろから些細な事でもいいから話をしていくことで職員は

「職員がいきいきとして、初めて利用者の笑顔は生まれる。そして、利用者の笑顔に触れて初めて職員は心からいきいきできる。」という言葉に、自分の介護職としての信念と共通していて自信を持つことができた。

参加者感想文から 〈抜粋〉 〈講演の感想〉

「この法人も人員不足で悩んでいること、教育についても管理者が大部分を担っており、管理者の負担が多いことが分かりました。」

〈法人報告の感想〉

「この法人も人員不足で悩んでいること、教育についても管理者が大部分を担っており、管理者の負担が多いことが分かりました。」



医療福祉生協おおさか・星野さんの講演

そういった面でも中堅職員が支えられれば良いなと思いました。

〈SGDの感想〉

他法人の介護職員と意見を交わすことで、いろいろと新しい気付きを得ることでできました。ぜひ自法人に持ち帰って活かせるようにしたい。

〈県連の取り組みへの期待〉

今回のように、一つのテーマに対して事業所ごとの悩みや取り組みが交流できる場や、学習できる場は続けて欲しいと思いました。今回のように、顔を合わせることが意見も出しやすかったです。



グループワークで講演と法人報告から学びを深めました

声をあげよう！ 名南会・尾張健友会が スタンディングでアピール

マイナンバーカードの受診トラブルが全国で起きており、「健康保険証を残してほしい」という声が広がっています。国民皆保険制度を突き崩すことにもなりかねず、国民のいのちと健康が脅かされています。

一方、中東パレスチナをめぐって大変な事態が起きています。ガザ地区を実効支配するイスラム組織・ハマスがイスラエルを奇襲攻撃し、イスラエルもガザ地区へ報復攻撃を開始。多くの民間人のいのちが無差別に奪われ、人道危機に陥っています。

名南会、尾張健友会は、毎月スタンディングを行い、社会保障や平和・憲法守れのテーマでアピールを続けています。10月からの「保険証を残して」、「ガザの武力行使反対」を訴えたスタンディングの取り組みをご紹介します。



武力行使反対を掲げた名南病院前のスタンディング

名南会は10月19日に名南病院前で「武力行使反対」のスタンディング。

同日、はみんぐ歯科前でも名南ふれあい病院とはみんぐ歯科職員で「保険証残して」のスタンディングを実施しました。



はみんぐ歯科前で「保険証残して」

尾張健友会は11月6日、病院近くの交差点でスタンディングを実施。職員と友の会13名参加。



尾張健友会



尾張健友会の交差点でのスタンディング

第31回 愛知民医連新聞 新年号写真コンテスト

撮影機材は問いません。お気軽にご応募ください！
スマホでも、コンパクトカメラでも、一眼レフでもOK！

テーマ 「私のベストショット」
応募資格 愛知民医連内の各法人職員（パート職員も可）
作品形式 1枚もの1点（組み写真不可）。
※カラー・白黒は問いません。
※プリント作品：サイズ不問です。ご郵送ください。
※データ応募：10MB以内。A4版普通紙・カラー印刷にて選考。
応募方法 以下の内容を添付しご応募ください（すべてお答えください）
①作品のタイトル、②所属法人、③職場名、④職種、⑤氏名（ふりがな）、⑥来年の当チラシに写真使用の可・不可、⑦郵送の場合は作品返却の要・否
◇郵送応募：〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-3
労働会館本館3階 愛知民医連・新年号写真コンテスト係
◇メール応募：aichiminiren@aichiminiren.jp
愛知民医連事務局・新年号写真コンテスト係
◇QRコードから応募（Google アカウント使用）
締め切り 2023年11月26日(日)必着
入賞 図書カード進呈 [金賞5千円、銀賞3千円、銅賞2千円、入選1千円]



フルーツやお肉が大好物

もきち君はフルーツやお肉が大好物のフクロモモンガです。正式にはホワイトフェイスという種類になります。大きさは片手ぐらいで、大きい目と長い尻尾が特徴です。夜行性で0時から6時ぐらいしか活動しません。なので遊ぶのはいつも夜中になります。ピョンピョンと飛び回る姿はとても

愛らしいです！
警戒心がとても強い子でしたが、徐々に距離が縮まっていき、今では手の中で寝てくれます(´▽`)
写真のようにココナッツの入れ物で足を広げておやつを食べる姿も(´▽`)

千秋病院 看護師 川崎 智貴
フクロモモンガ 名前…もきち君 もうすぐ2歳

全日本民医連 人権としての 社会保障セミナー

第2クール・ 地協フィールドワーク

「人権と入管問題」

9月26日、全日本民医連の「第45期・人権としての社会保障セミナー 第2クール」が金山・労働会館本館で開催され、愛知からは名南会の2名、尾張健友会の2名が参加しました。

今回のセミナーは、新自由主義の政治経済・社会保障抑制により広がっている貧困と健康格差、自己責任論を克服し、「人権と公正」「ケアの倫理」「ジェンダー平等」の視点で「人権としての社会保障」「無差別・平等の医療と福祉」を実現していく力を蓄えることを目標に開催されています。若手職員を参加対象に、今年6月～11月に3日間・全3クールで取り組まれています。

名古屋入管を題材に、 「人権と入管問題」 学ぶ

2021年に名古屋出入

国在留管理局に収容されていたスリランカ出身のウイシユマ・サンダマリさんが死亡した事件がありました。このことを契機として入管行政への批判と注目が高まり、「入管法」(出入国管理及び難民認定法)が改定されましたが、批判にこたえるどころか非正規滞在外国人の人権や命までも脅かす危険が指摘されています。



名古屋入管職員の方の講演

今回のセミナーでは、非正規滞在外国人やその人権について注目が集まっています。



被収容者支援団体の方の講演

入管職員と被収容者
支援団体から講演

講演では、名古屋入管職員の方に来ていただき、出入国在留管理局の役割と業務内容、そこでの被収容者の健康管理と医療・安全体制などについてお話しいただきました。

もうお一人、「人権の監視人」として名古屋入管の被収容者に面会活動を行っている「フレンズ・あいち移住労働者と共に未来を考える会」の西山誠子さんから、入管施設で起きている人権侵害の事例とフレンズの活動をお話しいただきました。

ふたつの講演を聞いたあとはグループディスカッションで非正規滞在外国人の人権について、感想や意見を交流しました。

最後に名古屋入管へ移動しましたが、一般の見学の受け入れは行っていないという理由で施設に入ることはできません。建物の前では外国人の方が収容されるときの気持ちを想像しながら、意見交換を行いました。

参加者の感想(一部)
・入国管理局は外国人の入国、在留、退去に関する重要な役割を果たしていることを強調したが、一般的な情報にとどまり、具体的な収容者の処遇について誠実に欠ける印象を受けました。



名古屋入管の建物前で意見交換

・西山氏からの説明を通じて、法整備が不十分であると、外国人の権利や安全が守られず、社会的な問題が生じる可能性が高まることと理解できました。より適切で公正な法整備が急務と感じました。

・現在入管や収容の状況やそもそも入管がどのようなことを行う場所なのかを改めて知る機会となった。

・偏りなく法と外国人双方の視点で話してください。入管施設には中に入るとより理解が深まったと思う。

・日本人でも求められる程度の社会性については仮放免の方々や収容されている方も持ち合わせることは求められるので、一概に人権侵害が起きているわけではないことがわかった。人対人の関係の居住スペースで外国人にも落ち度がある。ただ、拘

(特別寄稿)

P F A S 問題と愛知民医連への期待

豊山町民の生活と健康を守る会共同代表 坪井由実



6月17日のPFAS 汚染究明血液検査

水道水から基準越えの有機フッ素化合物検出しかし町も県も動かず

2021年3月、100%

愛知民医連の北病院・千秋病院が「PFAS外来」開設

2021年3月、100%地下水で給水していた豊山配水場から、国の定める50ng/lの3倍を超える有機フッ素化合物(PFAS)が検出され、PFASが検出され、地下水の汲み上げが中止されました。それまで、おそらく20年以上にわたり汚染水を飲み続けてきた住民の健康への影響はどうか、町や県は全く動こうとせず、私たち豊山生健会は、住民の不安に寄り添い相談のつてもらえる窓口の開設を

愛知民医連は、迅速に應對くださり、去る9月12日より、愛知民医連傘下の北病院(名古屋市北区)と千秋病院(一宮市)で、「PFAS相談外来」を開設してくださいました。PFASに曝露した私たち住民は、PFASを正しく恐れつつ、健康被害を予防するための半年ないし1年ごとの定期検査(腎がんエコー、甲状腺エコーなど)の計画を立て、検診、治療していただけることになり、だいぶ安心して生活できるようになりました。この間、採血段階から協力くださいました医師並びに看護師の皆様へ深く感謝申し上げます。

PFAS汚染は全国的に広がっている愛知県は独自の調査と対策を行え

ただ、豊山町豊場地区では、37名中22名、約60%

愛知民医連におかれましても、医療専門機関の立場から、「PFAS相談外来」の相談と診療データをもとに、愛知県に対して、調査と対策の必要性を説き、忠告し続けていただきたいと願っております。

河川や井戸水のPFAS汚染は、今や全国的に広がっており、愛知県独自の調査と対策が必要です。わたしたちは、子や孫のためにも、愛知県に対して汚染源の究明と対策を粘り強く求めていきます。

PFAS汚染は全国的に広がっている愛知県は独自の調査と対策を行え

「PFAS相談外来」のデータを活用し、医療機関の立場からの県への働きかけを期待します

は、被爆の危険にさらされない権利を明らかにしてきたことを報告。さらに、仙台市民訴訟、東京訴訟、福島の生業訴訟の弁護団からもオンラインで応援の訴えが送られました。

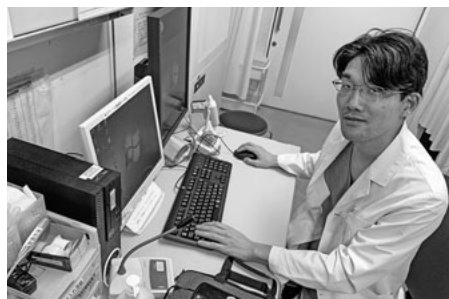
福島原発事故避難者でつくる「だまつちゃおれん」原発事故故人権侵害訴訟・愛知岐阜は、名古屋高裁判決(11月22日)を前にして、10月22日にウインクあいちで決起集会を開催し、原告・弁護士・支援者ら50人が参加しました。

だまつちゃおれん訴訟 判決前決起集会を開催

判決は11月22日(水)午前11時・名古屋高裁

研修医日記

患者さん中心の医療提供・人間性を忘れずに



協立総合病院 2年目研修医

小西 正晃

私は研修医としての一年間で、臨床現場にて多くの貴重な経験を受け取ることができました。病気やケガの重大さ、そしてこの一年の経験で、私はいくつかの重要な教訓を学びました。

良い医療を実践するために、医学的知識だけでなく、優れたコミュニケーションスキルも必要である。

回復への道のりの難さを悟り、その中で整形外科への憧れが次第に大きくなっていききました。この一年の経験で、私はいくつかの重要な教訓を学びました。

良い医療を実践するために、医学的知識だけでなく、優れたコミュニケーションスキルも必要である。

回復への道のりの難さを悟り、その中で整形外科への憧れが次第に大きくなっていききました。この一年の経験で、私はいくつかの重要な教訓を学びました。

良い医療を実践するために、医学的知識だけでなく、優れたコミュニケーションスキルも必要である。

相談室

連載⑩

入院継続が困難でも退院先の確保に難渋する方への支援の継続

生活保護受給の58歳男性のAさんは、3月中旬に正常圧水頭症で入院してきました。他病院でLIPシヤント術もおこな

い、歩行ができるまでになりました。自宅復帰するために行政や病院職員、介護スタッフも含めて自宅清掃をおこない6月末に退院し、アパート暮らしを再開しました。

しかし、アパート暮らしは病院でできていたことができず、階段が登れない、トイレが間に合わないなど一人暮らしが困難な状況であることがアマネージャーから連絡が入りました。再度入院を調整している矢先に、外で転倒し7月初旬に救急搬送されました。

成年後見制度利用するも保佐人決まるまでは施設入所はできません。結局一人暮らしは困難であると、本人が自覚し施設に入りたくないと希望されました。元々判断能力が低下している方で、この機会に成年後見市長申立もおこないました。類型は保佐相当。福祉課か

以前は工場で仕事をしていたのですが、左眼が見えなくなったことから仕事ができなくなり、保護受給となりました。さらに両親も亡くなっており、弟とも疎遠となり身寄りがありません。安心して生活ができる場所を確保するには、数ヶ月時間がかかってしまいました。

保護係も他区の施設に入居すると住所が変わるため、保護移管に問題があるようで、同一区での施設にしてほしいと行政側の都合を本人に説明していました。

安心して生活できる場所を確保するまでは支援を継続することに

協立総合病院・医療福祉サポートセンター
亀川 喜代美

遠位端骨折の患者さんの回復をやらせてもらった時、回復後に転移していた骨片が綺麗に元の位置に戻っているのを目の当たりにして感動したのを覚えています。

最後に、患者さん中心の医療提供、人間性を忘れないでいきたいと思います。今後、より多くの患者さんに対して痛みの軽減と健康への道を提供できるよう、努力を重ねてまいります。

協立総合病院・医療福祉サポートセンター
亀川 喜代美

協立総合病院・医療福祉サポートセンター
亀川 喜代美

協立総合病院・医療福祉サポートセンター
亀川 喜代美

協立総合病院・医療福祉サポートセンター
亀川 喜代美

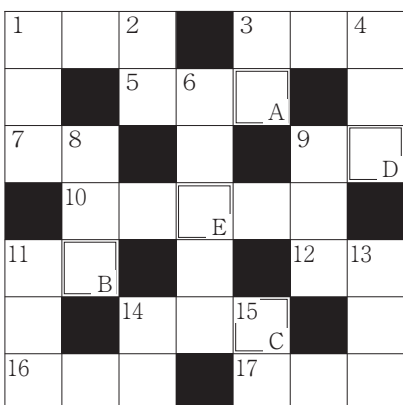
協立総合病院・医療福祉サポートセンター
亀川 喜代美

協立総合病院・医療福祉サポートセンター
亀川 喜代美

協立総合病院・医療福祉サポートセンター
亀川 喜代美

クロスを解いてA~Eに入る文字を順にならべてできた言葉をこたえてね

答え A B C D E



(出題 北メンタルクリニック 事務 幅しのぶ)

クロスワードパズル

- 1 秋、葉が色づいて綺麗です
- 2 ○○刈り、○○分け、○○野球
- 3 体の表面を覆っている層
- 4 「クルマのまち」といえば
- 6 病気の診断や治療、予防のための薬
- 8 ジョッキー
- 9 かわると寝られない? 歳はとりたくない? クラブ活動
- 11 煎餅、饅頭、チョコ、キャンディー...

- 15 車○○、○○足、座標○○
- 1 暗中○○
- 3 命中、安打、大当たり
- 5 お金やカードを入れている
- 7 その時、期間、その季節
- 9 「同様に」「再び」の意味で使われる
- 10 ボタン科の多年草、根は生薬にもなる
- 11 水分の多いご飯、消化が良い。
- 12 ク○○、か○○り、○レター

- 17 群馬県の温泉といえは
- 14 ほぼ、中国語と日本語でしか使わない
- 16 5万円以上の領収書には貼ります

- 15 車○○、○○足、座標○○
- 1 暗中○○
- 3 命中、安打、大当たり
- 5 お金やカードを入れている
- 7 その時、期間、その季節
- 9 「同様に」「再び」の意味で使われる
- 10 ボタン科の多年草、根は生薬にもなる
- 11 水分の多いご飯、消化が良い。
- 12 ク○○、か○○り、○レター

- 17 群馬県の温泉といえは
- 14 ほぼ、中国語と日本語でしか使わない
- 16 5万円以上の領収書には貼ります

- 17 群馬県の温泉といえは
- 14 ほぼ、中国語と日本語でしか使わない
- 16 5万円以上の領収書には貼ります

きんもくせい
看護師 犬飼 広子
通勤時、ほのかに匂うきんもくせいの花 秋だなあ
つて癒されてます。実家にもあったなと懐かしい

きんもくせい
看護師 犬飼 広子
通勤時、ほのかに匂うきんもくせいの花 秋だなあ
つて癒されてます。実家にもあったなと懐かしい

きんもくせい
看護師 犬飼 広子
通勤時、ほのかに匂うきんもくせいの花 秋だなあ
つて癒されてます。実家にもあったなと懐かしい

きんもくせい
看護師 犬飼 広子
通勤時、ほのかに匂うきんもくせいの花 秋だなあ
つて癒されてます。実家にもあったなと懐かしい

きんもくせい
看護師 犬飼 広子
通勤時、ほのかに匂うきんもくせいの花 秋だなあ
つて癒されてます。実家にもあったなと懐かしい

きんもくせい
看護師 犬飼 広子
通勤時、ほのかに匂うきんもくせいの花 秋だなあ
つて癒されてます。実家にもあったなと懐かしい

読者のひろば
美味い焼き手に生協わかばの里
作業療法士 園田麻子

読者のひろば
美味い焼き手に生協わかばの里
作業療法士 園田麻子

読者のひろば
美味い焼き手に生協わかばの里
作業療法士 園田麻子

読者のひろば
美味い焼き手に生協わかばの里
作業療法士 園田麻子

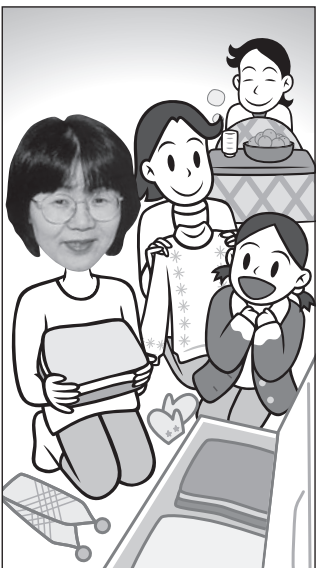
読者のひろば
美味い焼き手に生協わかばの里
作業療法士 園田麻子

読者のひろば
美味い焼き手に生協わかばの里
作業療法士 園田麻子

理事会報告

☆イスラエルとパレスチナ・ガザ地区での武力衝突では、大量のミサイルがガザ地区に発射され、国際人道法で禁止されている医療施設の攻撃により医療従事者も亡くなっています。全日本民医連は、ハマス、イスラエル双方の市民への無差別攻撃を強く非難し、武力行為即時停止を求める声明を发出了しました。日本政府にも一刻も早い停戦をするためにあらゆる外交努力を行うよう求めています。

☆11月30日に名古屋高裁で生活保護裁判の判決が出されます。これまで全国22の地裁判決は原告12勝10敗、高裁は0勝1敗となっていました。行政訴訟の勝率は1割程度と言われ、5割以上の勝率はかつてないことです。生活保護費引き下げから10年。受給者の生活実態を正しく評価せず、自民党公約に基づいて恣意的な物価の算出方式を用いたことが問われています。



職種の④氏名、⑤近況や紙面の感想、を記入し、ハガキ・FAX・電子メールでご応募ください。QRコードも可。ペンネームや事業所名・職種不記載は抽選の対象外です。パート・臨時職員もご応募いただけます。正解者の中から抽選で3人の方に図書カード進呈。近況や感想が「読者のひろば」に掲載された方も当選者の半額分の図書カードを進呈します。11月号クロスワードパズルの応募締め切りは12月5日です。

☆今年も11月23日の県連学術運動交流集会是オンライン開催です。記念講演は山極壽一氏の「人類学者から医療・介護関係者に考えてほしいこと」です。多くの参加を期待します。

☆来年度の研修医マッチングの結果公表がありました。協立PGは5人、南PGは6人の結果でした。

☆豊山町民の生活と健康を守る会より、P.F.A.S相談外来の開設のお礼と今後の取り組みの期待が呼びかけられました。

【10月27日第4回理事会
県連事務局長 武田修三

QRコードをスマホなどで読むと応募フォームから投稿できます。

https://goo.gl/k5hZMy